

4 30年後の富山県の姿

本県の豊かな水資源など地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入や、県民総ぐるみでの省エネルギーの推進により、エネルギー需給の安定による産業の発展と美しい自然環境や、地域の風土、伝統・文化が調和した、県民が真に暮らしの豊かさを感じられる、世界の中の環境トップランナーとして発展することを目指します。

○小水力、太陽光、バイオマス、風力、波力など、富山県の地域特性を活かした再生可能エネルギーによる発電が全県的に進んでいるほか、北アルプスに眠る豊かな熱資源を活用した地熱発電所が運転されるなど、多様なエネルギー源による安定したエネルギーの需給が実現されています。

○また、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車など、環境に優しいクリーンエネルギー自動車が各家庭で保有されているとともに、公共交通機関においてもハイブリッド電車・バスなどが積極的に導入され、充電や燃料補給ができる施設も県内各所に整備されるなど、県民モビリティの確保と環境が調和した社会が実現されています。

○一方、日本海においてメタンハイドレートの採掘が行われ、高品質の天然ガスがパイプラインにより富山県に供給され、多くの事業所において天然ガスコージェネレーションが稼働されているとともに、安定的に供給される水素をベースとした家庭用燃料電池コージェネレーションシステムが広く普及しています。

○さらに、各地域において地域特性や住民ニーズに応じたスマートコミュニティが形成されるなど、全県的に効率的な分散型エネルギーシステムの構築が進んでいます。

